

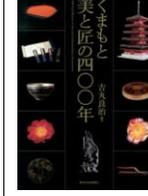
# 伝統工芸について学べるおすすめ本

風土や気候、人々の長い暮らしの中で育まれてきた日本の伝統工芸の数々。地元で生きる工芸品やその他の地域で大切に伝えられてきた匠の技術を知ることができる本を集めました。

荒尾市立図書館ブックリスト No.45

「伝統工芸の本」 2025.12月

No	
1	 <p><b>伝統工芸のよさを伝えよう 1~3</b></p> <p>日本の伝統工芸について作文を書く時にぴったりの本。1巻ではよそおいをテーマに織物・染色、2巻では生活の工芸品（焼き物や木工）、3巻では学びと遊びをテーマに和紙・文具を紹介します。</p> <p>①青山 由紀/監修 ②ほるぷ出版 ③K750 テン ④2020 ⑤20045339・20045340・20045341</p>
2	 <p><b>小学館の図鑑 NEOアート はじめての国宝</b></p> <p>曜変天目茶碗や陽明門など日本を代表する国宝の数々を紹介する図鑑。伝統と文化に培われてきた超絶技巧の美の集大成がこの1冊でわかります。どこが素晴らしく、何が評価されて国宝に指定されたのかを簡潔に解説。</p> <p>①青柳 正規/監修 ②小学館 ③K709 アオ ④2025 ⑤20058009</p>
3	 <p><b>ポプラディア情報館 伝統工芸</b></p> <p>都道府県別に地域に伝わる代表的な伝統工芸品を紹介。国語やふるさとを学ぶ教材として適しています。子どもにももちろん、大人にもわかりやすくなる1冊。</p> <p>①伝統的工芸品産業振興協会/監修 ②ポプラ社 ③K750 テン ④2006 ⑤30002152</p>
4	 <p><b>伝統工芸ってなに？見る・知る・楽しむガイドブック</b></p> <p>そもそも、伝統工芸っていったい何？に答えてくれる初心者向けのガイドブック。陶芸・染織・金工・木竹・人形・ガラスなどジャンルごとに伝統工芸品の基本をやさしく解説してくれます。</p> <p>①日本工芸会東日本支部/編 ②芸艸堂 ③K750 ニツ ④2013 ⑤20038272</p>
5	 <p><b>シリーズ伝統工芸の名人に会いに行く 1~3</b></p> <p>伝統工芸品はどんな風で作られて、どんな人が作っているのかをくわしくレポート。1巻は「やきもの—おんた焼き」2巻は「紙すき—小川和紙」3巻は「曲げわっぱ—大館曲げわっぱ」</p> <p>①瀬戸山 玄 ②岩崎書店 ③1巻K751、2・3巻K585 セト ④2019~2020 ⑤20048023・20048024・20048025</p>

No	
11	 <p><b>わくわく発見！日本の伝統工芸</b></p> <p>14種類に分類される日本の「伝統工芸品」。47都道府県、各地の伝統工芸品をイラストで紹介。熊本県では小代焼、天草陶磁器、肥後象がんが取り上げられています。</p> <p>①武永 絵里/画 ②河出書房新社 ③K750 タケ ④2017 ⑤20038273</p>
12	 <p><b>和紙の絵本</b></p> <p>和紙って何？今使っている紙とどう違うの？どうやって作っているの？和紙が生まれる工程や特徴についてをわかりやすく絵本で紹介します。</p> <p>①とがしろう ②講談社 ③K619 ツク ④2008 ⑤20028780</p>
13	 <p><b>くまもと美と匠の四〇〇年</b></p> <p>元熊本県伝統工芸館長で荒尾市出身の吉丸良治氏が著した熊本の美と匠の本。国宝江田船山古墳の太刀からはじまる県内各地の素晴らしい名工芸品の特徴、工芸品が生まれた背景を歴史、風土とともに伝えます。</p> <p>①吉丸 良治 ②熊本日日新聞社 ③II750.2 ヨシ ④2013 ⑤10072157</p>
14	 <p><b>小代焼 第二十五回熊本の美術展</b></p> <p>熊本を代表する焼物で伝統的工芸品の「小代焼」。小岱山のふもとで約400年にわたり焼き続けられた小代焼を紹介した展覧会の図録です。（※貸出不可。館内閲覧のみ）</p> <p>①②熊本県立美術館 ③A751.1 クマ ④2005 ⑤10527052</p>
15	 <p><b>熊本の匠たち</b></p> <p>人々の生活の中で生まれ、また、藩の保護を受けて発展してきた熊本県の伝統工芸品を取り上げて解説。来民うちわや肥後象がん、肥後こま、山鹿灯籠、木葉猿、肥後三郎弓等の工芸品とともに、職人の顔も紹介します。</p> <p>①遠山 洋一 ②NHKサービスセンター ③II750 トオ ④1991 ⑤10018063</p>

6		<p>日本文化キャラクター図鑑 伝統アトー匠の技、さえる！</p> <p>様々な日本の伝統をアートでとらえた図鑑。匠の技を、芸（表現する）、技（心をこめる）、道具、美意識と4つの章で分け、それぞれをかわいらしいキャラクターが紹介します。</p> <p>①本木 洋子 ②玉川大学出版部 ③K702 モト ④2014 ⑤20034756</p>
7		<p>未来につなぐ工芸品 1～3</p> <p>未来に残したい全国各地の工芸品を紹介。1巻には「織物・染色品・和紙・文具」、2巻には「陶磁器・漆器・木工品・竹工品」、3巻には「金工品・石工品・人形・こけし」を取り上げます。</p> <p>①大牧 圭吾/監修 ②金の星社 ③K750 オオ ④2024 ⑤20027503・20027501・20027502</p>
8		<p>47都道府県調べて楽しい!! あなたの町の凄！地場産業めぐり 1～3</p> <p>地域で伝承されてきた技術が産業として現在と未来を支えています。1巻は北海道・東北・関東、2巻は中部・近畿、3巻は中国・四国・九州・沖縄。</p> <p>①②教育画劇 ③K602 ヨン ④2019 ⑤20049511・20049512・20049513</p>
9		<p>日本の伝統文化仕事図鑑 1～2</p> <p>伝統文化の仕事がわかる図鑑。1巻では芸能・芸術・武道・食など、2巻では工芸や建築、服飾を紹介します。</p> <p>①ワン・ステップ ②金の星社 ③K366 ワン ④2019 ⑤20044555・20045538</p>
10		<p>昔のくらしの道具事典</p> <p>洗濯板や五徳など少し前まで使われていた生活の道具を写真や図で紹介。日本人が知恵と工夫で生み出してきたモノと技を多世代で学べます。</p> <p>①小林 克/監修 ②岩崎書店 ③K383 ムカ ④2004 ⑤30002235</p>

16		<p>和の文化をうけつぐ 日本の伝統もよう 1～3</p> <p>梅や桜、鶴、獅子、市松など日本の自然や風土をうつしてきた伝統の模様を知ることができる資料。1巻は植物・動物、2巻は風景と「もの」（霞・矢継）、3巻では図形の模様をとりあげます。</p> <p>①小山 弓弦葉/監修 ②汐文社 ③K727 オヤ ④2018 ⑤20043861・20043862・20043863</p>
17		<p>世界にほこる和紙～和紙のよさと作り方～</p> <p>日本の伝統工芸のひとつである和紙をとりあげた本。和紙は洋紙と比べて丈夫で長持ちします。そんな和紙の作り方や日本全国の有名な和紙をピックアップして解説。</p> <p>①増田 勝彦/監修 ②金の星社 ③K585 マス ④2000 ⑤20045727</p>
18		<p>竹細工</p> <p>全国各地に繁茂する竹は私たちの生活にとってもなじみ深い植物。その竹から生まれた竹細工のおもちゃを中心に生活道具や世界の竹細工が紹介されています。</p> <p>①全国郷土玩具館/監修 ②文溪社 ③K754 ハタ ④2012 ⑤20032661</p>
19		<p>47都道府県 かんたん英語でふるさと紹介 (3)</p> <p>ふるさとの名物や名所を英語で紹介したいときに役立つ本。第3巻はお祭り、伝統芸能、伝統工芸品など、昔から受け継がれてきた伝統にまつわる英語が学べ、大人にもおすすめです。</p> <p>①石川 めぐみ/監修 ②汐文社 ③K837 イシ ④2020 ⑤20045392</p>
20		<p>和の文化に触れてみよう！着物の大研究</p> <p>日本の伝統的衣装の着物について学べる1冊。季節をうつつたデザインや繊細な技術、世界との関わりについてなどさまざまな視点からわかりやすくまとめられています。古代から現代までの着物の変遷も。</p> <p>①馬場 まみ/監修 ②PHP研究所 ③K593 ハン ④2006 ⑤20023728</p>